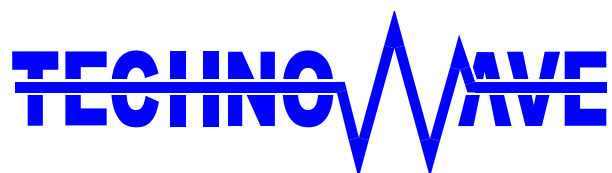


LANX-I16(P)用 HTTP ファームウェア
ユーザーズマニュアル



テクノウェーブ株式会社

目次

1. はじめに	2
□ 対応製品	2
□ マニュアル内の表記について.....	2
2. 概要	2
□ HTTP ファームウェアの概要	2
□ 仕様.....	2
3. 使用準備	3
□ フラッシュ書換えモードでの製品の起動	3
□ システムファームの更新.....	3
□ 製品のネットワーク設定.....	3
□ HTTP ファームウェアの書き込み.....	3
□ HTTP ファームウェアの設定	4
4. 使用方法	5
□ 起動方法	5
□ 操作方法	5
サポート情報	6

1. はじめに

□ 対応製品

「LANX-I16(P)用 HTTP ファームウェア」は、『LANX-I16』、および、『LANX-I16P』でご利用いただけます。

□ マニュアル内の表記について

本マニュアル内では対応製品を単に「製品」と表記する場合があります。

本マニュアル内ではハードウェアの各電氣的状態について下記のように表記いたします。

表 1 電氣的状態の表記方法

表記	状態
“ON”	電流が流れている状態、スイッチが閉じている状態、オープンコレクタ(オープンドレイン)出力がシンク出力している状態。
“OFF”	電流が流れていない状態、スイッチが開いている状態、オープンコレクタ(オープンドレイン)出力がハインピーダンスの状態。

2. 概要

□ HTTP ファームウェアの概要

「LANX-I16(P)用 HTTP ファームウェア」(以下、「HTTP ファームウェア」)は、弊社製品『LANX-I16』または『LANX-I16P』で使用可能な追加のファームウェアです。

「HTTP ファームウェア」を製品にダウンロードすることにより、標準の機能に加えてウェブブラウザからの製品操作が可能になります(図 1)。

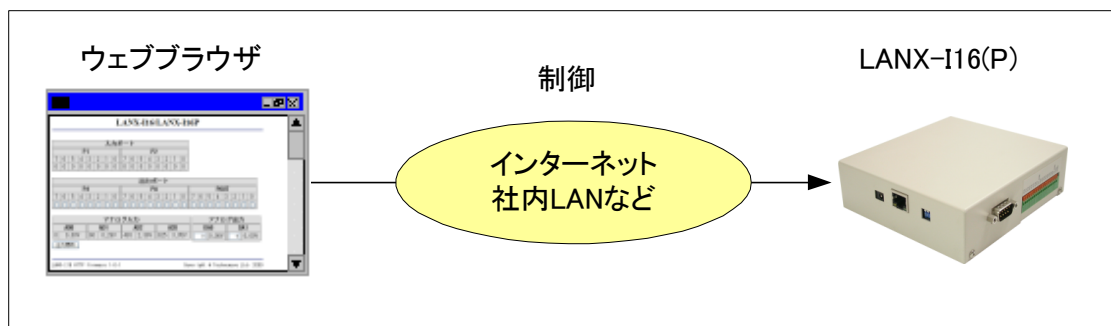


図 1 ウェブブラウザから制御

□ 仕様

表 2 HTTP ファームウェアの仕様

項目	仕様	
接続可能なクライアント数	最大 2	
制御可能な機能	デジタル入力	16 点
	デジタル出力	24 点(絶縁 16 点、非絶縁 8 点)
	アナログ入力	4 点
	アナログ出力	2 点
認証方式	ベーシック認証	

3. 使用準備

□ フラッシュ書換えモードでの製品の起動

以下で説明する設定を行うためには、製品をフラッシュ書換えモードで起動する必要があります。フラッシュ書換えモードで起動するには、ディップスイッチの 2 番を“ON”にし、製品の電源を入れ、ネットワークに接続します。

- 製品の電源が入っている場合には、一旦電源を切り、ディップスイッチを操作してください。

□ システムファームの更新

「HTTP ファームウェア」を利用するには、システムファームの Ver.4.1.2 以降が必要になります。Ver.4.1.2より前の製品をお使いの場合、弊社ホームページから最新のファームウェアをダウンロードし、更新を行ってください。

LANX-I16(P)サポートページ：http://www.techw.co.jp/lanx-il6/lanx-il6b_support1.htm

□ 製品のネットワーク設定

HTTP サーバーとして使用する場合、製品に固定 IP を割り当てます。「LANX-I16 ネットワーク設定ユーティリティ」を起動し、必要な設定を行ってください(設定方法の詳細は製品マニュアルを参照してください)。

□ HTTP ファームウェアの書き込み

ダウンロードファイルの解凍フォルダ、または、CD-ROM の「¥TOOL¥LANXTools¥Lxi16Http」から「LanxHttpConfig.exe」を起動します(図 2)。

「ファームウェアダウンロード」のボタンを押すと、ファームウェアの書き込みツールが起動します(図 3)。製品をフラッシュ書換えモードで起動し、「開始」ボタンを押してファームウェアをダウンロードしてください。

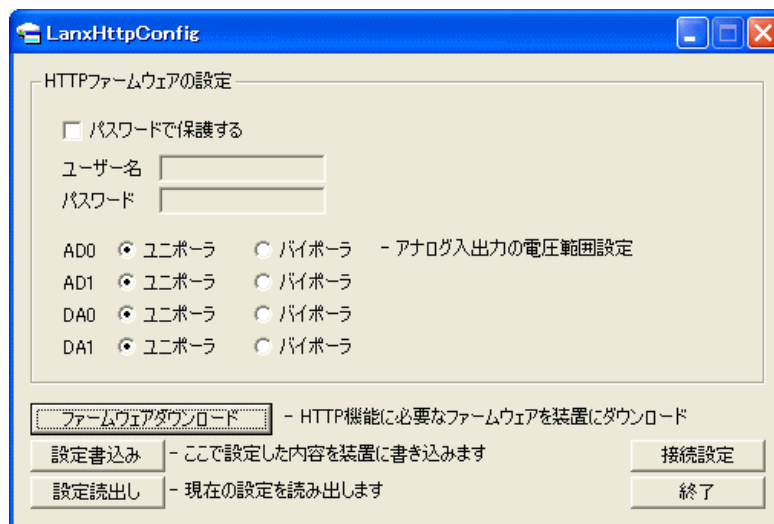


図 2 LanxHttpConfig.exe の画面

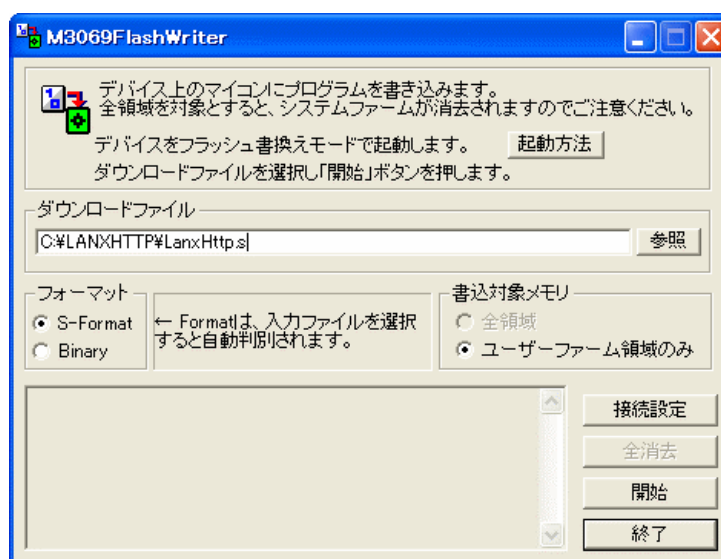


図 3 ファームウェアの書き込みツール(M3069 Flash Writer)

□ HTTP ファームウェアの設定

HTTP ファームウェアの動作設定を行います(図 2 参照)。

- ・ アクセスをパスワードで保護する場合には「パスワードで保護する」にチェックを入れ、「ユーザー名」と「パスワード」を設定します。どちらも半角英数記号 15 文字以内で設定してください。スペースは使用できません。
- ・ 「AD0」、「AD1」、「DA0」、「DA1」はアナログ入出力の電圧範囲を決定するものです。「ユニポーラ」の場合 0-5V、「バイポーラ」の場合 ±2.5V に初期化されます。

製品をフラッシュ書換えモードで起動し、「設定書込み」ボタンを押してください。

4. 使用方法

□ 起動方法

製品の電源を切った状態で、ディップスイッチの 1 番を“ON”、2 番を“OFF”に設定します。製品の電源を入れると、「HTTP ファームウェア」が動作します

「HTTP ファームウェア」の動作を禁止し、標準の状態では起動するには、上の要領でディップスイッチの 1 番、2 番をともに“OFF”として起動してください。

- 「HTTP ファームウェア」による動作を行っている間も、付属ライブラリで制御することが可能です。

□ 操作方法

ウェブブラウザを起動し、アドレスバーに製品の IP アドレスを入力して「Enter」キーを押します。パスワードを設定した場合は入力画面が表示されますので、入力を行ってください。

図 4 に操作画面を示します。

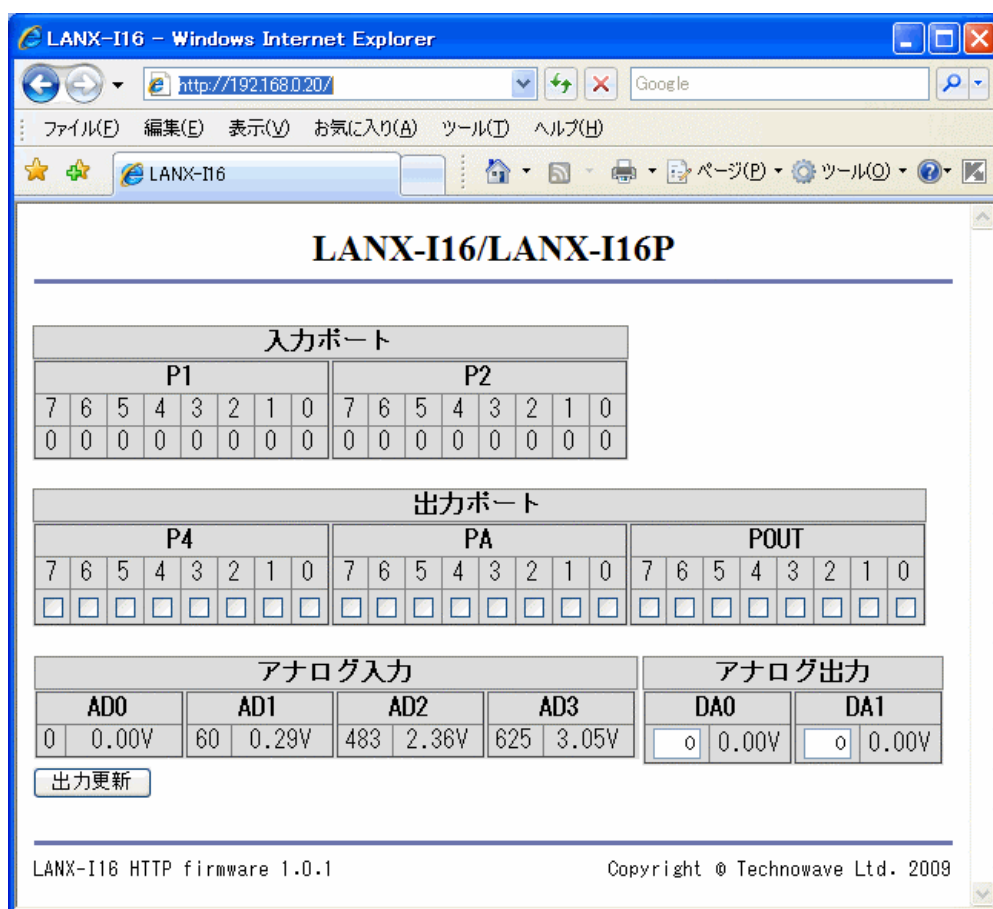


図 4 Internet Explorer による操作画面

-
- ・「入力ポート」は入力端子の状態を示しています。“ON”のビットが“1”と表示されます。
 - ・「出力ポート」で出力端子の状態を変更できます。出力を“ON”にしたい端子の欄にチェックを入れ、「出力更新」ボタンを押してください。
 - ・「アナログ入力」は現在の入力電圧を表示します。各端子の左側が入力電圧をデジタルに変換した値で 0～1023 の間で変化します。右側がボルト単位に変換した値です。
 - ・「アナログ出力」で出力電圧を変更できます。変更したい端子のエディットボックスに 0～255 の値を入力し、「出力更新」ボタンを押してください。0 が最小値、255 が最大値を表します。エディットボックスの左側には現在の設定値をボルト単位で表示します。

サポート情報

「LANX-I16(P)用 HTTP ファームウェア」、『LANX-I16』、『LANX-I16P』に関する情報は、弊社ホームページにてご案内しております。また、お問い合わせ、ご質問などは下記までご連絡ください。

テクノウェーブ(株)

URL : <http://www.techw.co.jp>

E-mail : support@techw.co.jp

改訂記録

年月	版	改訂内容
2009年10月	初	